

所得稅法の一部を改正する等の法律案特別委員會議事速記録第六號

付託議案

○所得稅法の一部を改正する等の法律案

○臨時租稅措置法を改正する法律案

○地方稅法及び地方分與稅法の一部を改正する法律案

昭和二十一年八月二十六日(月曜日)午後一時十分開會

○委員長(男爵周布兼道君) 開會致シマス、前回引續キマシテ御質問ヲ願ヒマス

○男爵松平外與君 此ノ間伺ツタコトヲ繰返シヤウデアリマスガ、所得稅ノ分類所得稅ト綜合所得稅ト課稅ノ問題デアリマスガ、此ノ間、二重課稅ナリヤ否ヤ御伺ヒシタノデアリマスガ、ドウモ大臣ノ御答辯ガハツキリシナイヤウデアリマスカラ、モウ一遍其ノ關係ヲ御伺ヒシタト思ヒマス

○政府委員(池田勇人君) 所得稅ヲ分類所得稅ト綜合所得稅ト二段階ヘデ課稅スルコトガ二重課稅ニナラナイカ、斯ウ云フ御質問デゴザイマス、我々ハ二重課稅ニハナラナイト考ヘテ居リマス、ナゼカト申シマス、所得ニ對シマシテハ、是ハ所得ノ種類ニ依リマシテ課稅力ノ違フ場合ガアルノデアリマス、即チ資産所得事業所得勤勞所得ト比ベマス、資産所得ガ最モ課稅力ガアリ、勤勞所得ガ其ノ中デモ課稅力ガ少イト斯ウ言ハレマス、又他ノ方面カラ申シマス、所得ノ其ノ量ニ依リマシテ課稅力ガ違フテ參リマス、即チ十萬圓ノ所得者ハ一萬圓ノ所得者ヨリモ百圓アタリノ課稅力ガウント高ク勘定デアリマス、

所得ハ其ノ性質ニ依リマシテ課稅力又其ノ分量ニ依リマシテ課稅力ガ各々違フテ居リマス、日本ノ法制ニ於キマシテハ、其ノ二方面カラ課稅力ヲ擧ヘテ行ク、斯ウ云フ建方ヲシテ居ルノデゴザイマス、昭和十五年以前ニハ其ノ所得ノ種類ノ如何ヲ問ヘズ、其ノ分量ニ依リマシテ課稅力ヲ見ルコトノミニ努メテ居リマス、從ヒマシテ一般勤勞所得デアリマス、事業所得デアリマス、配當等ノ資産所得デアリマセウトモ、全部合セマシテ免稅點ヲ千圓トシテ課稅シテ居ツタノデアリマス、此ノ間ニ於キマシテ、所得ノ種類ニ依リマシテ課稅力ヲ或程度反映サス爲ニ、勤勞所得ニ付キマシテハ、六千圓以下二割、一萬二千圓以下一割引ト斯ウ云フ風ナリ方デ或程度ノ違フ置イテ置キマシタ、サウ云フ問題デアリマシテ、所得ノ種類ニ依リマシテ差異ト云フモノヲ、昔ノ稅ハ餘リ見テ居ナイ、昭和十五年ノ稅ノ改正ニ依リマシテ、實ニ依リマシテ課稅力ノ分、依リモノハ「フラット」ノ稅率デヤツテ居リマス、百分ノ十八トカ、百分ノ二十一、或ハ百分ノ二十三ト云フ「フラット」ノ稅率デ行キマシテ、唯或程度緩和スル爲ニ基礎控除ト云フモノデ、百圓當リ「ノラット」ノ稅率ヲ或程度緩和致シテ居ルノデアリマス、サウシテ片一方ノ綜合所得稅ハ強度ノ累進稅率ニナツテ居リマス、現行ハ百分ノ八カラ百分ノ七十四ト云フ累進率ニ依リマシテ、課稅力ヲ致シテ擧ヘヨウト、斯

ウ致シテ居ルノデアリマス、從ツテ理論的ニハ、所得稅ヲ分類ト綜合トニ分ケルコトハ、二重課稅ニナツテ居ナイノデゴザイマス、假ニ分類所得稅ノ稅金ヲ引イタモノヲ綜合所得稅ニ持ツテ行クト致シマス、非常ナ奇現象ガ起ツテ來マス、ナゼカト申シマス、分類所得稅ハ、勤勞所得ナラバ百分ノ十八ヲ引イテ、百圓ノ所得ナラバ百分ノ二圓ヲ綜合ニ持ツテ行ク、ソレカラ配當デアリマス、現行ハ百分ノ二十二ヲ引イタ七十八圓ヲ綜合ニ持ツテ行ク、斯ウ致シマス、一方デ課稅力アリトシテ資産所得ニ強イ率ヲ置キナガラ、片方デ非常ニ綜合ノ方デ低イ金額デ綜合スル、斯ウ云フコトニ相成リマス、是ハ折角分類ト綜合トヲ設ケテ理由ヲ没却シテシマフ、ソレデ分類所得稅ニ於テハ「フラット」ノ稅率デヤツテ行ク、唯ソレヲ緩和スル爲ニ控除ノ問題ヲ置イテ居ル、斯ウ云フ建前ニナツテ居リマス、分類所得稅、綜合所得稅制度ハ英米獨佛四箇國トモ之ヲヤツテ居ルノデゴザイマス、昭和十五年ニ中央、地方ヲ通ジマシテノ根本的改正ノ時ニ如何ニシテ行カト云フコトデ、各方面ノ御意見ヲ承リマシテ、是ハ今ノ日本ノ稅制ガ一番課稅力ガアリ、一番理論的ダト云フノデ拵ヘ上ゲタモノデゴザイマス

市町村ノ特別事情ヲ斟酌シテ配當スルノデアリマスケレドモ、内務省ニ於キマシテ、配付ガ我儘ニナリマシテハ誠ニ相濟マヌノデアリマシテ、之ニハ出來ルダケ詳細ナ調査ヲ致シマシテ、出來ルダケ一ツ客觀的標準ヲ設ケテ運用スル積リデ居リマス、只今考ヘテ居リマス所ハ凡ソ五ツバカリノ事項ヲ考ヘテ居ルノデアリマス、即チ第一ニ於キマシテハ災害應急費又ハ災害復舊費ニ充ツル爲メ借入レマシタ負債額ガ非常ニ多イト云フノガ一ツノ條項、次ニハ人口ノ増加ガ顯著ナ場合、ソレカラ第三ニハ道ニ人口ノ密度ガ一般ニ比ベテ稀薄デア場合、第四ニハ國民學校兒童數ノ人口ニ對スル比率ガ特ニ高イ小學校ノ兒童數ガ多イ、ソレカラ第五ニハ獨立稅額ガ一般ニ比ベテ少イ、斯ウ云フヤウナ客觀的標準ヲ取リマシテ、尙此ノ五ツノ中デ拾ハレナイモノガ偶ニアリ得ルコトデアリマス、其ノ他特別ノ事情ノアルモノト云フヤウナ、斯ウ云フ條項ニ當該シマス所ニ、其ノ團體ノ財政狀況ニ微シマシテ適當ノ分與シヨウト云フコトニナルノデアリマス、從ツテ此ノ額ガ餘リ多クナリマス、結果ニ於テ色々ト論議サレコト、モナリマス、從來モ之ヲ百分ノ五ト云フ形ヲ取ツテ居ツタノデアリマスガ、今回ニ於キマシテハ大體百分ノ五程度デ實際ノ處理ハ出來ルト云フ見込デア居ル次第デアリマス、ソレカラ次ニ道府縣配付稅ニ於キマシテハ、第四種配付額、是ハ凡ソ一億五千百萬圓位

付稅ト臨時特別配付稅ノ活用ダト思ヒマス、唯特別配付稅ニ於テハ、特別ノ事情ヲ斟酌シテ分與、臨時特別配付稅ハ戰災ニ依リ稅ノ減收額ヲ理由トシテ分與スル、斯ウ云フコトデアリマス、特別ノ事情ヲ斟酌シテ分與スルト云フノハ具體的ニ如何ナルモノヲ指スノデアリマス、先ヅソレヲ伺ヒマス、其ノ次ニハ此ノ總額カラ見マス、百分ノ二十ト五、此ノ二ツノ特別配付稅ノ割當金額ニナツテ居リマス、今回ノ如ク戰災後ノ處置、其他ノ方カラ考ヘマス、此ノ配付稅ヲ擴張スベキ所ノ範圍ト云フモノガ、相當アリ得ルノデハナイカト思ヒマス、總額カラ見マス、果シテ百分ノ二十五デ足リルモノデアリマセウカ、ドウデアリマス、望ムラクハ之ヲモウ少シ率ヲ、全額ニ比ベマシテ、許シ得ルナラバ、此ノ活用ノ出來マス稅總額ノ「バーセンテ」ジ「ヨモウ」少シ上ゲルコトガ出來ナイモノデセウカドウカ、此ノ二點ヲ御伺ヒ致シマス

○國務大臣(大村清一君) 只今御尋ニナリマシタノハ、道府縣ノ配付稅ニ於キマシテ特別ノ事情ヲ斟酌シテ分與致シマス第三種配付額、ソレカラ市町村配付稅ニ於ケル、同様ノ特別配付稅、是ハ何レモ市町村、道府縣配付稅總額ノ百分ノ五、何レモ百分ノ五ヲ割當テ居ルノデアリマシテ、金額ニ致シマシテ、道府縣配付稅ニ於キマシテハ約七千五百萬圓、市町村ノ特別配付稅ニ於キマシテハ約四千萬圓ニナルノデアリマス、是ハ結局ニ於キマシテ府縣及ビ

ニナルノデアリマス、ソレカラ市町村ノ配付税ノ中ノ臨時特別配付税、是ハ一億六千三百萬圓ト云フ數字ニ相成リマスガ、此ノ兩者ハ何レモ、戰災ニ依リ税ノ減收額ヲ標準額トシテ分與スル積リデアリマス、詰リ其ノ程度ハ大體税ノ減收額ノ凡ソ二分ノ一ヲ補給スル程度ニナルノデアリマス、戰災ノ際リマシタ團體ニ於キマシテ減收額ノ半分ハ配付税ニ依ツテ補填スル残り半分ハ是ハ一ツ戰災團體ノ經費ノ節約ナリ或ハ其ノ他ノ便法ニ依リマシテ半分ハ自分テ始末スル、半分ハ地方分與税ノ力ニ依ツテヤルト云フ程度デ適當デアラウト考ヘテ居ル次第デアリマス、而シテ此ノ方ハ只今相當ノ減收額ガアリマシテモ、團體ノ戰災復興ノ速度ニ依リマシテ、非常ニ早く恢復スル所ト運ク恢復スル所トアラウト思ヒマス、其ノ運速ガゴザイマスノデ、大體減收額ノ半分ヲ補填スルト云フ標準デ逐次金額ハ戰災復興ニ伴ヒマシテ此ノ方ハ、減少シテ行ク、過大ノモノガ渡ラヌヤウニ取計ラツテ行ク方針デゴザイマス

○男爵松平外與實君 只今ノ御説明デハツキリ致シマシタ、サウ致シマス、今ノ御話デ道府縣稅ノ三種配付額、ソレカラ市町村配付稅ノ特別配付稅デスガ、是ハ特別ノ事情ヲ今議、御説明ニナリマシタ點カラ見マス、是ハ比較的ナント言ヒマス、次ノモノニ比ベマスト期限の長ク繼續の性質ヲ持ツテ居ルモノニナリマスデアリマセウカ、ソレカラ更ニ第四種ト臨時特別稅ハ今申シマシタ通り戰災ノ復興ニ依ツテ金額ガ減ツテ來ル、是ハ當然デラウト思ヒマス、サウシマスレバ自然地方分與稅ノ總額ノ金額ニ異動ガ生ジテ來

ルノハ當然デアリマシテ、ソレニ依リマシテ地方分與稅ノ現在ノ豫算額ヨリハ逐次減少スルト云フ狀況ニ進ムベキモノ、斯ウ解釋シテ宜シウゴザイマス

○國務大臣(大村清一君) 御諒ネノ第一點デアリマスガ、配付稅額ノ百分ノ五ヲ特別ノ事情ヲ斟酌シテ分與スルト云フコトハズツト連年繼續致シマスケレドモ、併シ具體的ニ此ノ配付額ヲ受ケル團體ハ年々異動ガアラウト思ヒマス、特別ノ事情ガ存シテ居レバ繼續致シマスガ、其ノ特別ノ事情ガ推移シテ參リマスニ伴ヒマシテ、第一年ニ於テキマシテ、甲ノ町村ガ此ノ分與ニ預ツテ居リマシテ、翌年ニナリマスレバ、其ノ甲ノ町村ニハ交付シナイデ乙ノ町村ニ移ツテ行クト云フヤウナコトハアリ得ルコトデアリマスガ、併シ第三種配付額ハ兎モ角モ配付稅ノ百分ノ五ノ限度ニ於キマシテ、何レカノ團體ニ交付スルト云フコトハズツト繼續スル豫定デ居リマス、ソレカラ質問ノ第二點デゴザイマスガ、御承知ノヤウニ配付稅ハ年々ノ政府ノ稅收入ニ依ツテ異動ガアルコトデアリマス、其ノ配付稅ノ生ジテ來マス所ノ基本ノ稅ニ於キマシテ増減ガアリマスレバ、固ヨリ其ノ結果ノ影響ヲ受ケル譯デアリマス、併シ茲ニ法律ニ規定シテアリマス所ノ配當ノ割合ト云フモノハ法律ヲ改正セザル限リハ固定シテ居ル譯デアリマス、併シ此ノ臨時特別配付稅及ビ府縣ノ第四種額ニ付キマシテハ先ニ申上ゲマシタヤウニ、稅ノ減收ノ回復後ニ於キマシテハ百分ノ二十以內、二十ト限定致シマセマデ、二十以內ト致シテ居リマスカラ、是ガ或ハ百分ノ十五ト云フ工合デ宜イト云フコトニナリマス、此ノ

方ノ割合ハ減リマス、サウナリマス、其ノ残りノ分ノ外ノ一種二種ノ方ニ加算スルト云フヤウナ自動的ナ作用ヲ致ス譯デアリマス

○男爵松平外與實君 ソレデアリマス、結局當分ノ間ハ國ノ稅率ノ變化ガアラザル限リ現在計上サレマシタ配付稅總額ハ當分總額のニハ動カナイ、斯ウ見テ宜シウゴザイマス

○國務大臣(大村清一君) 其ノ通りデアリマス

○委員長(男爵周布兼道君) 御質問願ヒマス

○小山完吾君 府縣民稅ト云フモノハ、サウスルト今迄ノ町村民稅ト兩方共率ガ上ルト云フコトニナリマス、所謂人頭稅ノ掛ルモノト見テ宜シイノデゴザイマス

○國務大臣(大村清一君) 大キク申シマスレバ、人頭稅ノヤウナモノデアリマスガ、併シ實際ノ課稅ニ當リマシテハ、各人ノ擔持力ニ相應スルヤウナ課稅ヲ致シタイト云フヤウニ考ヘテ居リマス、併シ實際ノ賦課ノ方法ト致シマシテハ、大體府縣民稅ノ總額ノ三分ノ一位ハ二ツ均等割ニ致シタイ、残りノ三分ノ二ヲ擔持力ニ依ツテ課スルト云フノガ適當デアラウト云フヤウニ考ヘテ居リマス

○小山完吾君 サウスルト、ソレハ法律施行ノ方針トシテ地方ニモ、ソレハ何カ指令カナンカ出ザレルコトニナリマス

○國務大臣(大村清一君) 只今申上ゲマシタヤウナ方針デ、十分ニ地方當局ニ説明ヲシ、勸告モ致シ、又監督モ致ス豫定デアリマス

○小山完吾君 私ハソレダケデアリマス

○長島銀藏君 私ハ所得稅ノコトニ付テモウ一點當局ノ御意見ヲ伺ツテ見タイト思フノデアリマスガ、大藏大臣ハ、中小工業ヲ是カラ段々復興サシテ行ク、行カレバナラナイト云フ意味カラ、如何ニシテラ中小工業ガヤツテ行ケルカト云フコトニ付テ御考ヘノヤウデアリマス、ソレニ付キマシテ私ハ、所得稅即中小工業ノヤツテ行ケルカ行ケナイカト云フ問題ニ影響ガ非常ニ大キナルト思ヒマス、舊法ト新法ニ依リマスル稅額ヲ一過御計算願ヒマシテ、ソレヲ御示願マサルシ、皆樣トモ御相談シテ見タイトモ思ツテ居ルノデアリマス、此ノ點政府當局ニ御願ヒシタイト思ヒマスガ、如何デアリマス

○政府委員(池田男八君) 事業所得者ノ昭和二十年分ノ所得稅ノ負擔ト、今度御審議願ヒマシタ法案ガ通過致シマシテ昭和二十一年分ノ所得稅ノ負擔、之ヲ比較致シテ見マス、妻及子三人ノ事業所得者ニ於キマシテハ、三千圓ノ場合ニハ昭和二十年ニハ四百五十四圓ノ稅負擔ニナリマス、昭和二十一年ニハ六百六十二圓ニ相成リマス、五千圓ノ場合ニハ二十年ノ千三百圓ガ二十一年ノ六百六十二圓ニナリマス、八千圓ノ場合ニハ二千二百十圓ガ千四百十二圓ニ減ズル、斯ウ云フ狀況デアルノデアリマス

○長島銀藏君 今主稅局長ノ御話ハ非常ニ少額ニ失シマシテ、了解ニ苦シム譯ナンデスガ、扶養家族ノ除イタ稅額デ、例ヘバ事業所得ノ場合ニハ營業附加稅ト云フヤウナモノヲ加算シテ裁キマシテ、サウシテ一昨日ノヤウニ二萬圓カラ三十萬圓迄、ソレカラ願ヘレバ

百萬圓迄ノ計算ヲ飛ビ、デ結構デゴザイマスガ、分類所得ト綜合所得ト營業稅、同ジク營業附加稅、之ヲ「プラス」シタ合計額ヲ舊法ト新法ニ依リモノヲ出シテ觀キタイト思ヒマス

○政府委員(池田男八君) 御話ガ中小商工業者ト云フ前提デアリマシタノデ、三千圓、五千圓、八千圓ノ場合ニ付テ申上ゲタノデゴザイマス、事業所得ハ大體二三千圓程度ガ全國平均ニナツテ居リマス、一萬圓以上ノ事業所得者ハ、臨時利得稅モカ、リマシテ相當ノモノデアリマス、極ク少ク、日本ノ事業所得、即ち營業所得ト致シマシテハ、三千圓、五千圓位ガ中以上ニ相成ツテ居ルヤウナ狀況デゴザイマス、一萬圓以上ト申シマス、是ハ大所得者ニ相成ツテシマツテ、事業所得百萬圓、五十萬圓ト云フハ全國ニ五人ノ指モ折レナイ、斯ウ云フ狀況デアルノデアリマス、併シ折角ノ御話デゴザイマス、サカ申上ゲマス、只今ノ所ハ分額ト綜合ダケノ比較ニ相成ツテ居リマスガ、二萬圓デ申シマス、是ハ獨身者ノ、家族ヲ扶キシタ數字デ申上ゲマセウ、二萬圓デ申シマス、昨年度、昭和二十年度ハ七千九百二十六圓、今年度ハ八千四百五十圓……

○長島銀藏君 二萬圓デゴザイマス、五萬圓デ申シマス、二十年ガ三萬四千二百二十六圓、二十一年ガ三萬四千五百十圓、十萬圓デ申シマス、二十年ガ六萬一千九百二十六圓、二十一年ガ七萬四千五百十圓、二十萬圓ガ十四萬九百二十六圓、二十一年ガ十五萬五千四百五十圓、而シテ營業稅ノ附加稅ハ昭和二十年分ニ付キマシテハ、所得額ノ百分ノ八ガ掛カツテ居

リマス、昭和二十一年分ハ所得額ノ百
分ノ十五ガ課税ニ相成ルコトニナリマ
ス、而シテ營業稅以外ニ昭和二十年分
ニ付キマシテハ、別途臨時利得稅ガ課
カルコトニナリマス、臨時利得稅ノ計
算ハ、平均利益ガ各人ニ依ツテ違ツテ
居リマス、階級別ニ負擔稅額ヲ
申上ル譯ニハ參リマセヌ

家ハ合成酒デモ何デモ構ヒマセヌカラ
多量ニ造ツテ、國民ニフンダンニ飲マ
シテヤツテ貰ヒ、サウシテ澤山ノ稅ヲ
取ツテ行ク、喜ンデ納稅ノ出來ルコト云
フヤウナ方法ニ付テ御考慮ニ預リタ
イ、斯ウ考ヘテ居ル譯デアリマス、ソ
レカラ現在織物消費稅ノ案ニ出テ居リ
マス、モノハ、四十「パーセント」ト、
ソレカラ十「パーセント」ニナツテ居ル
ヤウデアリマス、是ハ中間ヲ取ツ
テ三十「パーセント」ノ一本ニシテ載ク
ト云フヤウナ方法ハドウカト考ヘテ居
リマス、何故カト申シマス、モノハ、木
綿ト、「スフ」地ノ織物ニ對シテハ斯ウ
云フ考ヘ方ヲ持ツテ居リマス、「スフ」
ヲ作リマス、ニハ「バルブ」デケデハ絶
對ニイカメセヌ、「バルブ」ノ中ハ權獲
ヲ、詰リ、木綿ヲ更ニ入レマシテ、ソ
レヲ二硫化炭素デ處理致シマシテ、始
メテ「スフ」ニナリマス、其ノ「スフ」ニ
出來タモノヲ其儘織物ニシマス、弱
クテモ非常ニ不經濟ナモノデアリマ
ス、カ、更ニ是ハ木綿ヲ加ヘマス、
サウシテ殆ド是ノ耐久力ト云フモノ
ハ、木綿ノ何分ノ一カニ落チテ居ルニ
シテ、而モ三分ノ一トカ、四分ノ一ト
カ云フヤウナ耐久力ノ弱イモノニシテ
織物ニ使ハナキヤナライ、非常ニ不
經濟極マルモノデアリマス、中國
アタリヘモ日本カラ「スフ」ノ織物ヲ相
當送リマシタガ、中國人ハ一遍カ二度洗
濯シテ出ルモノト云フヤウナ底質フコ
トハ出來ナイノダト云フヤウナサツバリ中
國ニハ「スフ」ノ織物ハ賣レナイト云フ
話ヲ聞イテ居リマス、純綿ト「ス
フ」入リノモノハ自然淘汰ニ依ツテ當
然需要ハ少クナルト云フヤウニ考ヘラ

レマス、昭和二十一年分ハ所得額ノ百
分ノ十五ガ課税ニ相成ルコトニナリマ
ス、而シテ營業稅以外ニ昭和二十年分
ニ付キマシテハ、別途臨時利得稅ガ課
カルコトニナリマス、臨時利得稅ノ計
算ハ、平均利益ガ各人ニ依ツテ違ツテ
居リマス、階級別ニ負擔稅額ヲ
申上ル譯ニハ參リマセヌ

レマス、昭和二十一年分ハ所得額ノ百
分ノ十五ガ課税ニ相成ルコトニナリマ
ス、而シテ營業稅以外ニ昭和二十年分
ニ付キマシテハ、別途臨時利得稅ガ課
カルコトニナリマス、臨時利得稅ノ計
算ハ、平均利益ガ各人ニ依ツテ違ツテ
居リマス、階級別ニ負擔稅額ヲ
申上ル譯ニハ參リマセヌ

レマス、昭和二十一年分ハ所得額ノ百
分ノ十五ガ課税ニ相成ルコトニナリマ
ス、而シテ營業稅以外ニ昭和二十年分
ニ付キマシテハ、別途臨時利得稅ガ課
カルコトニナリマス、臨時利得稅ノ計
算ハ、平均利益ガ各人ニ依ツテ違ツテ
居リマス、階級別ニ負擔稅額ヲ
申上ル譯ニハ參リマセヌ

レマス、昭和二十一年分ハ所得額ノ百
分ノ十五ガ課税ニ相成ルコトニナリマ
ス、而シテ營業稅以外ニ昭和二十年分
ニ付キマシテハ、別途臨時利得稅ガ課
カルコトニナリマス、臨時利得稅ノ計
算ハ、平均利益ガ各人ニ依ツテ違ツテ
居リマス、階級別ニ負擔稅額ヲ
申上ル譯ニハ參リマセヌ

レマス、昭和二十一年分ハ所得額ノ百
分ノ十五ガ課税ニ相成ルコトニナリマ
ス、而シテ營業稅以外ニ昭和二十年分
ニ付キマシテハ、別途臨時利得稅ガ課
カルコトニナリマス、臨時利得稅ノ計
算ハ、平均利益ガ各人ニ依ツテ違ツテ
居リマス、階級別ニ負擔稅額ヲ
申上ル譯ニハ參リマセヌ

レマス、昭和二十一年分ハ所得額ノ百
分ノ十五ガ課税ニ相成ルコトニナリマ
ス、而シテ營業稅以外ニ昭和二十年分
ニ付キマシテハ、別途臨時利得稅ガ課
カルコトニナリマス、臨時利得稅ノ計
算ハ、平均利益ガ各人ニ依ツテ違ツテ
居リマス、階級別ニ負擔稅額ヲ
申上ル譯ニハ參リマセヌ

レマス、昭和二十一年分ハ所得額ノ百
分ノ十五ガ課税ニ相成ルコトニナリマ
ス、而シテ營業稅以外ニ昭和二十年分
ニ付キマシテハ、別途臨時利得稅ガ課
カルコトニナリマス、臨時利得稅ノ計
算ハ、平均利益ガ各人ニ依ツテ違ツテ
居リマス、階級別ニ負擔稅額ヲ
申上ル譯ニハ參リマセヌ

レマス、昭和二十一年分ハ所得額ノ百
分ノ十五ガ課税ニ相成ルコトニナリマ
ス、而シテ營業稅以外ニ昭和二十年分
ニ付キマシテハ、別途臨時利得稅ガ課
カルコトニナリマス、臨時利得稅ノ計
算ハ、平均利益ガ各人ニ依ツテ違ツテ
居リマス、階級別ニ負擔稅額ヲ
申上ル譯ニハ參リマセヌ

レマス、昭和二十一年分ハ所得額ノ百
分ノ十五ガ課税ニ相成ルコトニナリマ
ス、而シテ營業稅以外ニ昭和二十年分
ニ付キマシテハ、別途臨時利得稅ガ課
カルコトニナリマス、臨時利得稅ノ計
算ハ、平均利益ガ各人ニ依ツテ違ツテ
居リマス、階級別ニ負擔稅額ヲ
申上ル譯ニハ參リマセヌ

レマス、昭和二十一年分ハ所得額ノ百
分ノ十五ガ課税ニ相成ルコトニナリマ
ス、而シテ營業稅以外ニ昭和二十年分
ニ付キマシテハ、別途臨時利得稅ガ課
カルコトニナリマス、臨時利得稅ノ計
算ハ、平均利益ガ各人ニ依ツテ違ツテ
居リマス、階級別ニ負擔稅額ヲ
申上ル譯ニハ參リマセヌ

レマス、昭和二十一年分ハ所得額ノ百
分ノ十五ガ課税ニ相成ルコトニナリマ
ス、而シテ營業稅以外ニ昭和二十年分
ニ付キマシテハ、別途臨時利得稅ガ課
カルコトニナリマス、臨時利得稅ノ計
算ハ、平均利益ガ各人ニ依ツテ違ツテ
居リマス、階級別ニ負擔稅額ヲ
申上ル譯ニハ參リマセヌ

レマス、昭和二十一年分ハ所得額ノ百
分ノ十五ガ課税ニ相成ルコトニナリマ
ス、而シテ營業稅以外ニ昭和二十年分
ニ付キマシテハ、別途臨時利得稅ガ課
カルコトニナリマス、臨時利得稅ノ計
算ハ、平均利益ガ各人ニ依ツテ違ツテ
居リマス、階級別ニ負擔稅額ヲ
申上ル譯ニハ參リマセヌ

レマス、昭和二十一年分ハ所得額ノ百
分ノ十五ガ課税ニ相成ルコトニナリマ
ス、而シテ營業稅以外ニ昭和二十年分
ニ付キマシテハ、別途臨時利得稅ガ課
カルコトニナリマス、臨時利得稅ノ計
算ハ、平均利益ガ各人ニ依ツテ違ツテ
居リマス、階級別ニ負擔稅額ヲ
申上ル譯ニハ參リマセヌ

レマス、昭和二十一年分ハ所得額ノ百
分ノ十五ガ課税ニ相成ルコトニナリマ
ス、而シテ營業稅以外ニ昭和二十年分
ニ付キマシテハ、別途臨時利得稅ガ課
カルコトニナリマス、臨時利得稅ノ計
算ハ、平均利益ガ各人ニ依ツテ違ツテ
居リマス、階級別ニ負擔稅額ヲ
申上ル譯ニハ參リマセヌ

レマス、昭和二十一年分ハ所得額ノ百
分ノ十五ガ課税ニ相成ルコトニナリマ
ス、而シテ營業稅以外ニ昭和二十年分
ニ付キマシテハ、別途臨時利得稅ガ課
カルコトニナリマス、臨時利得稅ノ計
算ハ、平均利益ガ各人ニ依ツテ違ツテ
居リマス、階級別ニ負擔稅額ヲ
申上ル譯ニハ參リマセヌ

レマス、昭和二十一年分ハ所得額ノ百
分ノ十五ガ課税ニ相成ルコトニナリマ
ス、而シテ營業稅以外ニ昭和二十年分
ニ付キマシテハ、別途臨時利得稅ガ課
カルコトニナリマス、臨時利得稅ノ計
算ハ、平均利益ガ各人ニ依ツテ違ツテ
居リマス、階級別ニ負擔稅額ヲ
申上ル譯ニハ參リマセヌ

レマス、昭和二十一年分ハ所得額ノ百
分ノ十五ガ課税ニ相成ルコトニナリマ
ス、而シテ營業稅以外ニ昭和二十年分
ニ付キマシテハ、別途臨時利得稅ガ課
カルコトニナリマス、臨時利得稅ノ計
算ハ、平均利益ガ各人ニ依ツテ違ツテ
居リマス、階級別ニ負擔稅額ヲ
申上ル譯ニハ參リマセヌ

レマス、昭和二十一年分ハ所得額ノ百
分ノ十五ガ課税ニ相成ルコトニナリマ
ス、而シテ營業稅以外ニ昭和二十年分
ニ付キマシテハ、別途臨時利得稅ガ課
カルコトニナリマス、臨時利得稅ノ計
算ハ、平均利益ガ各人ニ依ツテ違ツテ
居リマス、階級別ニ負擔稅額ヲ
申上ル譯ニハ參リマセヌ

レマス、昭和二十一年分ハ所得額ノ百
分ノ十五ガ課税ニ相成ルコトニナリマ
ス、而シテ營業稅以外ニ昭和二十年分
ニ付キマシテハ、別途臨時利得稅ガ課
カルコトニナリマス、臨時利得稅ノ計
算ハ、平均利益ガ各人ニ依ツテ違ツテ
居リマス、階級別ニ負擔稅額ヲ
申上ル譯ニハ參リマセヌ

レマス、昭和二十一年分ハ所得額ノ百
分ノ十五ガ課税ニ相成ルコトニナリマ
ス、而シテ營業稅以外ニ昭和二十年分
ニ付キマシテハ、別途臨時利得稅ガ課
カルコトニナリマス、臨時利得稅ノ計
算ハ、平均利益ガ各人ニ依ツテ違ツテ
居リマス、階級別ニ負擔稅額ヲ
申上ル譯ニハ參リマセヌ

現在日本酒一級が三百五十圓、處ニ依レバ四百圓モシテ居ルサウデアリマス、斯ウ云フヤウナ非常ニ澤山ノ人カ要求シテ居ルニモ拘ラズ、閣ノ相場ヲ知ツテ居ラレカ、知ツテ居ラレナイカハ別問題ト致シマスルガ、其ノ需要ヲ補シテヤル、同時ニ澤山ノ收税ヲシテ來ルノダト云フコトガ民意ニ副ツテ居ルコトデハナイカ、斯ウ私ハ考ヘマスカラ、尙一層ノ御研究ヲ願ヒタイト思ヒマス、ソレカラ自動車ノ税金デアリマスルガ、之ヲ丙類ニ直スト云フコトハ、日本ノ現狀デハ不適當ダト云フ御意デアリマスルガ、ソレハ主税局長ノ御意ハニナツテ居ルコトガ不適當ダト思フカ知レマセヌガ、私等ハ是ハ丙類ニ當然下ゲテ貰ツテ適當ダラウ、斯ウ思フノデスガ、適當カ不適當カハ、ソコハ見解ノ相違デアリマスルカラ、是ハ委員御一同ニ諮ツテ見タイト云フコト居リマス、以上デアリマス

○政府委員(池田勇人君)「アルコール」ノ消費ハ常ニ我々努力致シテ居ルノデゴザイマスルガ、「フィッシュ」法ニ致シマシテモ、我が國ニ於キマシテハ、樽立或ハ朝鮮デヤツテ居リマス、併シ是ハドウシテモ「メチール」ガ相當分量入ツテ居リマシテ、今ノ價格デハ工業的ニ產出スルコトハ出來ヌコトニナツテ居リマス、是デウマク行キマスレバ、我々ト致シマシテハ、何モ諸ヤ或ハ其ノ他ノ粉粉、斯ウ云フ粉原料ヲ使ヒタカハナイノデアリマスルガ、只今ノ化學ト致シマシテハ、「フィッシュ」法デアルコールヲ取ツテ之ヲ飲料ニ供スルコト云フ所迄化學ハ進ンデ居リマセヌ、誠ニ遺憾ナ所デアリマスルガ、此ノ「フィッシュ」法以外

ノ方法デ行クト云フコトニ致シマス、何ト致シマシテモ、澱粉ヲ持ツテ居ルモノヲ使ハナケレバナラス、菊芋トカ或ハ彼等花ノ根ヲ取ツタリ、有ラエル努力ハ拂ツテ居ルノデアリマスルガ、年ト共ニ「アルコール」ノ原料ト云フモノハ減ツテ參リヤウナ狀況デゴザイマス

○長島鐵藏君 只今「アルコール」ノ問題ハ稅法ト少シ懸離レテシマッタヤウナ感ガデザイマスルガ、「アルコール」ノ稅ヲ含メテ居リマセヌ「アルコール」ノモノノ價格ヲ、飲料ニ供スルモノダケ特ニ引上グルト云フヤウナ方法ヲ執レバ、完全ニ「セバレート」シテ、サウシテ立派ナ「アルコール」ガ出來ル私ハ信ジマス、化學水準ガ餘リ日本ガ低過ギマスノデ、ソレニ則テ過ギテ、サウ云フヤウナ御議論ニナルト思ヒマスガ、例ヘバ「アルコール」ノ中デ「エチール」ト「メチール」ノ沸騰點ハ僅カ攝氏ノ十度シカ差ガアリマセヌガ、是ハ酸化法ニ依リマシテ「アルデハイト」又ハ「エステル」トシタ場合ニハ完全ニ分離ガ出來ルト思ヒマス、處ガ「エステル」ニナルト蒸溜「ポイント」差ガ大キクナリマスカラ、サウ云フ方法デ仕上グルコトガ出來テ、ソレヲ出來タモノニ依ツテモウ一遍「アルカリ」ニ依ツテヤレバ、還元シテ元ノモノニナル、サウスレバ費用ハ少シ高ナルノデアリマスガ、飲料ニ依ツテ税金ヲ多ク取リ得ルト云フコトデアリマスルナラバ……詰リサウ云フ合成方法ニ依ル「アルコール」ノ單價ヲ引合フヤウニ引上ゲレバ、是ハ幾ラデモ出來ルト思ヒマス、化學ノ討論見タヤウナコトニナリマシテ、甚ダ何デスガ、ソレニハ間違ヒアリマセヌカラ、ドウカ御參考ニ

御聽取ヲ願ヒタイト思ヒマス
○委員長(男爵周布兼道君) 長島君ニ伺ヒマスガ、マダ御質問ハデザイマス
○長島鐵藏君 質問ノ方ニ先ニ行ツテシマッタモノデスカラ、ソレニ依ル批判ガ出來ルデスカラ、一昨日ノ計算ハ、都民府ヲ收入金額カラ借金ヲ引イタ其ノ残り、約一割以内ノ課税スルト斯ウ云フ御意デアリマシタノデ、私ガ此ノ間申上ゲマシタ數字トハ少シ變ツテ參リマス、ソコデ、此ノ數字ヲ舉ゲマシテ委員諸君ノ御目ニカケタイト實ハ考ヘテ居ル次第デアリマス、ソレカラ私ノ希望致シマスノハ、只今主税局長カラ十萬圓ト二十萬圓ト云フモノ、ソレカラ二千圓デスカラ、斯ウ云フ數字ヲ承リマシタカ、御説明ハ分所所得ト綜合所得ト二ツダケデアリマスガ、實際ニ營業者ガ營業スル上ニ於キマシテハ、營業稅モ納メナケレバナラヌシ、之ニ對スル附加稅モ當然拂ヒマスシ、其ノ外ニ都民稅ト云フモノヲ拂ヒマス、其ノ合計額デ營業者、或ハ其ノ他ノ者ガ、營業者ガ負擔ガ出來得ルカ出來得ナイカト云フコトガ、本原案ヲ通過サセルカサセナイカト云フ分岐點ニナルト思ヒマスカラ、私ハ御差支ナケレバ委員ノ方ニチヨツト御席ヲ外シマシテ、相談ヲ致シタイト斯ウ考ヘテ居リマス

○委員(男爵周布兼道君) 下ナタカ他ニ御質問ガデザイマスレバ續イテ願ヒマス
○子爵梅澤通虎君 私勤勞所得ノコトニ付チヨツト伺ヒタイト思ヒマス、勤勞所得ノコトニ付キマシテハ、衆議院ノ方デハ非常ニ論議ガアツタヤウニ此ノ前主税局長カラモ御説明ガアツタ

ノデゴザイマスガ、此ノ勤勞所得者ノ綜合所得ノ免稅點ハ一萬圓ニナツテ居リマス、以前ノ一萬圓ノ所得ト云フノハ、所謂勤勞所得ト云フヤウナコトデアツタノデアリマスレドモ、最近ノ一萬圓ハモウ免稅點ニ掛ル程度ノ所得ト云フコトニナツタ、デアリマスルガ、サウ致シマシテ、現在一萬圓ノ綜合所得ナラバ、假ニ一萬一千圓トカ、一萬五千圓位ノ所得者ガ、勤勞所得者ノ内デハ一番……私ハ正確ナ數字ハ知りマセヌケレドモ多イノデヤナイカト思ヒマス、サウ云フ場合ニ此ノ綜合所得稅十五「パーセント」ト云フノハ、結局來年度ニナリマシテカラ現在ノ一萬圓乃至一萬五千圓ノ收入者ト云フモノハ、最近ノ情勢、今迄年ニ二千圓乃至三千圓ノ收入ノ人カ、最近ノ情勢デ、一萬圓乃至一萬五千圓トカ其ノ前後ニナツタ人デアリマスノデ、現在ノ收入、ソレカラ分類所得稅ヲ引カレマシテ、到底ソレカラ貯金ノ餘裕ノアルヤウナ人ハナイノデハナイカト思ヒマス、サウ致シマシテ、此ノ物價情勢等ガ此ノ幾年來連續キマス、結局來年ニナリマス、此ノ人達ハ今年ノ分ノ綜合所得稅ハ來年度ニハ拂ヘナクナルノデハナイカト斯ウ思フノデアリマスガ、サウ云ツタ點ニ付アドウ云ツタ御意デゴザイマセウカ、チヨツト承リタイノデアリマス

○政府委員(池田勇人君) 綜合所得稅ノ免稅點ハ、從來三千圓デアリマシタノヲ、物價事情ノ考慮シマシテ、去年三月一萬圓ニ引上ゲタノデゴザイマス、其ノ當時ハ一萬圓ニ引上ゲレバ結構ダト考ヘテ居リマシタ、是ハ綜合所得稅ハ勤勞者バカリ課稅スルノデアリマセヌ、事業或ハ配當、不動産所得、

各所得ニ課稅スルノデゴザイマス、而シテ此ノ一萬圓ト云フ免稅點ハ前年ノ所得ニ對シテ課稅スル場合デアリマスノデ、前年ノ物價事情カラ考ヘマシテ、三千圓乃至一萬圓ニ引上ゲマシタコトハ私ハ上ゲ過ギテ居ル位ニ考ヘテ居ルノデアリマス、今年ノ所謂係給ガ非常ニ上リマシタ勤勞所得者ニ對シマシテハ、本年、綜合所得稅ハ課稅致シマセヌ、昨年一萬圓以上ノ係給所得者ノ方ニハ課稅致シマスルガ、本年一萬圓以上ニ相成ツタ方ニ付キマシテハ、是ハ來年課稅スルノデアリマス、而シテ此ノ物價事情ガ此ノ冬、或ハ來年ノ春位迄、今ノ儘落著イテ居ルカ、或ハ騰ルカ、下ルカ、斯ウ云フコトヲ今後ノ情勢、依ツテ考ヘテ行カケレバナラスト思フノデアリマス、私ハ綜合所得稅ハ一萬圓ト云フコトニナリマス、只今千圓乃至二千圓、三百圓取ツテ居ル方ガ非常ニ多イ、此ノ方ガ稅ヲ負擔スル、中ニハ一萬五千圓ニナルト、ソレニ對シテ百分ノ三十五課カルト云フ風ノ非常ノ突飛モナイ考ヲ起ス人ガアルヤウデアリマスガ、是ハ飽ク迄一萬圓ヲ超スル方ニ對シマシテ、超エル部分ハ三十五「パーセント」課稅スルノデアリマス、從ヒマシテ一萬五千圓ノ人モ、一萬圓ヲ超エマシタ五千圓ニ對シマシテ三十五「パーセント」課稅ノデ千七百五十圓ノ負擔ニナル、斯ウ云フコトニナツテ居ルノデアリマス、從ヒマシテ免稅點ヲ今年度ノ綜合所得稅ヲ一萬圓ニ致シマシタコトハ、私ハ餘リ低過ギルト云フ考ハ持ツテ居リマセヌ、今年ノ勤勞所得者ノ係給増ニ對シマシテハ來年對處スレバ結構ダト考ヘテ居ルノデアリマス、サウシテ又別問題デゴザイマスルガ、綜合所得稅ノ

ノデゴザイマスガ、此ノ勤勞所得者ノ綜合所得ノ免稅點ハ一萬圓ニナツテ居リマス、以前ノ一萬圓ノ所得ト云フノハ、所謂勤勞所得ト云フヤウナコトデアツタノデアリマスレドモ、最近ノ一萬圓ハモウ免稅點ニ掛ル程度ノ所得ト云フコトニナツタ、デアリマスルガ、サウ致シマシテ、現在一萬圓ノ綜合所得ナラバ、假ニ一萬一千圓トカ、一萬五千圓位ノ所得者ガ、勤勞所得者ノ内デハ一番……私ハ正確ナ數字ハ知りマセヌケレドモ多イノデヤナイカト思ヒマス、サウ云フ場合ニ此ノ綜合所得稅十五「パーセント」ト云フノハ、結局來年度ニナリマシテカラ現在ノ一萬圓乃至一萬五千圓ノ收入者ト云フモノハ、最近ノ情勢、今迄年ニ二千圓乃至三千圓ノ收入ノ人カ、最近ノ情勢デ、一萬圓乃至一萬五千圓トカ其ノ前後ニナツタ人デアリマスノデ、現在ノ收入、ソレカラ分類所得稅ヲ引カレマシテ、到底ソレカラ貯金ノ餘裕ノアルヤウナ人ハナイノデハナイカト思ヒマス、サウ致シマシテ、此ノ物價情勢等ガ此ノ幾年來連續キマス、結局來年ニナリマス、此ノ人達ハ今年ノ分ノ綜合所得稅ハ來年度ニハ拂ヘナクナルノデハナイカト斯ウ思フノデアリマスガ、サウ云ツタ點ニ付アドウ云ツタ御意デゴザイマセウカ、チヨツト承リタイノデアリマス

○政府委員(池田勇人君) 綜合所得稅ノ免稅點ハ、從來三千圓デアリマシタノヲ、物價事情ノ考慮シマシテ、去年三月一萬圓ニ引上ゲタノデゴザイマス、其ノ當時ハ一萬圓ニ引上ゲレバ結構ダト考ヘテ居リマシタ、是ハ綜合所得稅ハ勤勞者バカリ課稅スルノデアリマセヌ、事業或ハ配當、不動産所得、

各所得ニ課稅スルノデゴザイマス、而シテ此ノ一萬圓ト云フ免稅點ハ前年ノ所得ニ對シテ課稅スル場合デアリマスノデ、前年ノ物價事情カラ考ヘマシテ、三千圓乃至一萬圓ニ引上ゲマシタコトハ私ハ上ゲ過ギテ居ル位ニ考ヘテ居ルノデアリマス、今年ノ所謂係給ガ非常ニ上リマシタ勤勞所得者ニ對シマシテハ、本年、綜合所得稅ハ課稅致シマセヌ、昨年一萬圓以上ノ係給所得者ノ方ニハ課稅致シマスルガ、本年一萬圓以上ニ相成ツタ方ニ付キマシテハ、是ハ來年課稅スルノデアリマス、而シテ此ノ物價事情ガ此ノ冬、或ハ來年ノ春位迄、今ノ儘落著イテ居ルカ、或ハ騰ルカ、下ルカ、斯ウ云フコトヲ今後ノ情勢、依ツテ考ヘテ行カケレバナラスト思フノデアリマス、私ハ綜合所得稅ハ一萬圓ト云フコトニナリマス、只今千圓乃至二千圓、三百圓取ツテ居ル方ガ非常ニ多イ、此ノ方ガ稅ヲ負擔スル、中ニハ一萬五千圓ニナルト、ソレニ對シテ百分ノ三十五課カルト云フ風ノ非常ノ突飛モナイ考ヲ起ス人ガアルヤウデアリマスガ、是ハ飽ク迄一萬圓ヲ超スル方ニ對シマシテ、超エル部分ハ三十五「パーセント」課稅スルノデアリマス、從ヒマシテ一萬五千圓ノ人モ、一萬圓ヲ超エマシタ五千圓ニ對シマシテ三十五「パーセント」課稅ノデ千七百五十圓ノ負擔ニナル、斯ウ云フコトニナツテ居ルノデアリマス、從ヒマシテ免稅點ヲ今年度ノ綜合所得稅ヲ一萬圓ニ致シマシタコトハ、私ハ餘リ低過ギルト云フ考ハ持ツテ居リマセヌ、今年ノ勤勞所得者ノ係給増ニ對シマシテハ來年對處スレバ結構ダト考ヘテ居ルノデアリマス、サウシテ又別問題デゴザイマスルガ、綜合所得稅ノ

免稅點ヲドコニ置クカト云フコトハ、是ハ考ヘヤウデゴザイマシテ、「アメリカ」ハ分類所得稅ト綜合所得稅トヲ一ニシテ居リマス、五萬「ドル」ノ控除デ而モ綜合ノ方ハ向フデハ賦課稅ト言ヒマス、ソレガ五萬「ドル」カラ始ツテ居ル、ハ「イギリス」ハ二萬「ポンド」カラ始ツテ居リマス、我ガ國ハ一萬圓、勤勞所得者ノ俸給ヲ上ゲタカラ、免稅點ヲ上ゲル、殊ニ綜合所得稅ノ免稅點ヲ上ゲルト云フコトヨリモ、先ツ第一ニ其ノ一萬五千圓ノ勤勞者ハ分類、綜合ヲ併セテ幾ラノ負擔ニナルカ、コ、カラ考ヘテ行カナケレバ唯ダト思フノデゴザイマス、來年ノ稅制改正ニ當リマシテ、免稅點ヲ一萬圓ニスルカ、或ハ分類所得稅制度ヲドウ云フ風ニスルカニ依リマシテ、是カラ五千圓ニ下ルカ、是ハ各稅ノ稅率ヲ見テカラ後ニ考ヘルベキ問題ダト思ツテ居ル次第デゴザイマス

○子爵梅澤通虎君 今ノ御話デ、現在ノ一萬圓乃至一萬五千圓位ノ收入者ノ綜合所得稅ハ來年度課稅サレノデアリカラ、來年度ノ所謂物價情勢トカ經濟情勢トカ云フモノヲ勘案致シテ、更ニ其ノ時ニ考スルコト云フ風ナ御話ハ詰リ來年ノ情勢ニ依ツテハ、或ハ此ノ一萬圓ノ免稅點ヲ一萬五千圓ニスルカモ知レナイ、或ハ又根本的ニ綜合所得稅ト分類所得稅ト今迄ノヤリ方ニ付テ、殊ニ勤勞所得ノ方ニ付テハ稅制ヲ改革スルカモ知レナイ、斯ウ云フコトナシデゴザイマスネ、サウダトハ思ヒマスケレドモ、其ノ點ヲハツキリト一ツ……

○政府委員(池田勇人君) 御話ノ通りデゴザイマスガ、最後ニ仰シヤイマシタ勤勞所得稅ニ付テハ、綜合、分類ヲドウ云フ風ニシテ行クカト云フノデハゴザイマセヌ、綜合、分類ハ各種ノ所得ニ付テ考ヘナケレバナラヌ、勤勞所得ニ付テ問題ガアルカラ、此ノ勤勞所得デケラ外シテ稅制ヲ別個ニ考ヘルト云フ譯ニハ行カヌト思ヒマス、其ノ他ノ點ニ付キマシテハ御話ノ通りデゴザイマス

○子爵梅澤通虎君 唯私ガ勤勞所得ニ付テ特ニ申上ゲタノハ、先程モ主稅局長カラモ御話ノ中ニアツタト思ヒマスガ、丁度此ノ前井川君ノ御引キニナリマシタヤウニ、勤勞所得者ノ所得ハ、丁度日本手拭ノヤウナモノデ、事業所得者ノ所得ハ西洋手拭デヤナイカト私ハ思フノデアリマシテ、勤勞所得者、同ジ收入デアツテモ、其ノ含ミト云フ風ナモノハ、私ハ勤勞所得者ノ方ガ無イノデヤナイカト云フ風ナ點ヲ考ヘテ、其ノ點ハ幾分勤勞所得者ト其ノ他ノ所得者トノ間デ何等カノ差異ト申シマス、見方ノ違ヒガアツテモ宜イノデハナイカト、斯ウ思ツテ居リマス、是ハ私ノ老デアリマス、ソレカラモウ一ツ矢張り勤勞所得ニ關スルコトデアリマスケレドモ、今度所謂軍需補償ノ打切り等失業業者ガ相當出ルコトハモウ必至ト思フノデゴザイマスガ、其ノ場合ニ軍需補償ノ打切りト云フヤウナコト出マシタ勤勞所得者ノ失業業者デゴザイマスガ、サウ云ツタ人ノ來年度ノ綜合所得稅ニ付テハ、何カ減免ト云フ風ナコトニ付テ御考慮ノ御拂ヒニナリマス、或ハ將來出來ル綜合所得稅ノ改正ノ時ニ御考ニナルノデゴザイマス、其ノ點ヲ承リタイト思ヒマス

○政府委員(池田勇人君) 勤勞所得者ニハ含ミガ少ナク、事業所得ニハ含ミガ相當ニ豐富デハナイカ、斯ウ云フ御話ノ點ニ付キマシテハ、或ル程度我々モ考ヘテ居リマス、是ハ勤勞所得ハ源泉徴收デアリマスノデ、根コソ取ラレル課稅ノ對象ニナツテ居リマス、ソレカラ事業所得ハ賦課稅デアアルカラ、稅務署ガ如何ニ調査シテモ、トコトシ迄ハ實際ノ金額迄掘ミニクタイト云フ、斯ウ云フ點ハアルト思フノデアリマスガ、併シ勤勞所得デモ、調査シテ見マスト、ナカノ根コソ取課稅對象ニナツテ居ナイ場合モゴザイマスシ、又事業所得デモ稅務署ガソコニ出掛ケテ行ツテ、特ニ帳面ヲ調べタ場合ニ、トコトシ迄行ツテ居ル場合モアルノデアリマス、唯總體的ニ申シマスト、今ノ稅務官吏ノ素質、又人員カラ申シマシテモ、或ル程度御話ノヤウナ點ハナキニシモアラズト云フ氣持ヲ持ツテ居リマス、又是ハ今ノ時代ガ「インフレーション」時代デアリマスノデ、其ノ感ヲ深クスルノデゴザイマス、併シソレハ所謂理外ノ理デゴザイマシテ、表面ノ理據カラ申シマスト、私ハ今ノ勤勞所得ニ對スル稅率、各種ノ控除等、事業所得者ニ對シマシテノ營業稅ヲ考ヘタ場合ノ負擔ハ、假令ソレガ五千圓、或ハ一萬圓、或ハ三千圓、八千圓程度カラ申シマシテ、課稅價格ガ半分ニ事業業者ガ在定セラレタト致シマシテモ、勤勞所得ガ輕クナル、斯ウ云フ風ナ性質ヲ持ツテ居リマス、從ツテ含ミガアルト申サレマシテモ、勤勞所得稅ノ負擔率ハ非常ニ低ク致シテアルカラ、所謂一萬圓以下ノ所得者ニ付キマシテハ勤勞ガウント低クナツテ居ルヤウニ私ハ考ヘテ居ルノデゴザイマス、次ニ失業業者ガ續出シタ場合、其ノ所得稅ハ前年度ノ實績デカラ、只今千圓或ハ千數百圓ノ俸給ヲ貰ツテ居ル方ガ、來年

失業シタラ綜合所得稅ハドウナル、斯ウ云フ問題ハ、是ハ只今ノ稅法ノ建前カラ申シマスト、綜合所得稅ハ翌年ニ納メルコトニナツテ居リマス、今ノ建前デハ減免ト云フコトニ相成リマセヌ、唯先程申上ゲマシタヤウニ今後ノ情勢ノ推移ニ依リマシテ、稅制ニ付キマシテモ相當改正ヲ加ヘナケレバナリマセヌノデ、其ノ際考慮スベキ事項トシテ問題ニ相成ルト思フノデゴザイマス

○委員長(男爵周布兼道君) 御質問ハゴザイマセヌカ

○井川忠雄君 十七條ノ遊興飲食稅ヲ次ノヤウニ改正スルト云フ衆議院ノ修正案ガゴザイマス、第三條ノ免稅點ヲ引上ゲル中ノ十圓ヲ三十圓ト云フハ餘リ一度ニ飛過ギルヤウニ思ハレマスガ、政府ノ御考ハ如何デゴザイマス、此ノ點ガ一番稅率トシテハ上ルノデヤナイカト思ヒマスガ、如何デゴザイマス

○政府委員(池田勇人君) 十圓ヲ三十圓ニスルコトガ適當デアリカドウカ、上リ過ギルノデハナイカト云フ御話デゴザイマスガ、今ノ物價ヲドウ見ルカト云フコトト、此ノ修正ガアリマシタノハ多分第三國人關係ノ問題ガ相當入ツテ居ルノデハナイカト思ヒマス、一、三十圓位ニシテナガ本當デヤナイカト斯ウ云フヤウナ御話ノヤウデゴザイマシタ、私ハ別ニ三十圓ニシテノガ實際ニ副付カ合理的ダト云フ問題ニ付キマシテハ、御話致シマス程ノ材料ヲ持ツテ居リマセヌ、唯政府ト致シマシテハ衆議院ノ修正案ヲ尊重スルト云フコトヲ大臣ヨリ答辯シタノデゴザイマス

○井川忠雄君 稅額トシテハドウナル、デ上ルノデアリマス

○政府委員(池田勇人君) 大體初年度ニ於キマシテハ、七千萬圓、平年度デ一億五千萬圓位ニ考ヘテ居リマス

○井川忠雄君 斯ウ云フ非常時又ハソレニ準ズルヤウナ時ニハ、租稅ノ衡平ノ原則ト云フコトモ尊バナケレバナリマセヌケレドモ、同時ニ便宜ノ原則ト言ヒマス、サウ云フ點ヲ多分ニ御考慮アツタ然ルベキダト思フノデアリマス、特ニ先程主稅局長ノ御話ニ依リマス、只今稅務官吏ノ陣容デハナカノ稅ヲ提ヘルコトガムツカシイ所ガ相當アルヤウデゴザイマス、從ツテ斯ウ云フヤウニ比較的樂ニ納メラレマス部門、是ハ大衆課稅ニナル處モアリマスケレドモ、同時ニ外ヘ出テ斯ウ云フモノヲ食ベラレルヤウナ連中ハ、相當所謂泡盛ヲ擱ンデ居ル連中デハナイカト思ヒマス、眞面目ニ所得ヲ得テ居ル連中ハ、サウ外ヘ行ツテ食ベラレナイイダラウト思ヒマス、斯ウ云フ方面デ、寧ろ衡平ノ原則ヨリ便宜ノ原則ニ從ヘレバ、或ルベク多ク稅收ヲ圖ラレルコトガ宜イノデヤナイカト思ヒマス、從ツテ十圓ヲ一躍三十圓ニスルコトヲシナイデ、其ノ下ノ方ノ十二圓ヲ十五圓ニ、二十圓ヲ四十圓ニシタト云フ權衡カラ考ヘマシテモ、是ハモノガ違ヒマスケレドモ、十圓ヲ二十圓位ニ止メテ置カレテ、然ルベキデハナイカト思フノデゴザイマスガ、如何ナモノデヒウカ

○政府委員(池田勇人君) 租稅ノ衡平ノ原則ト、便宜ノ原則ハ御話ノ通りデゴザイマス、唯先般モ此處デ問題ニナリマシタヤウニ、遊興飲食稅、殊ニ飲食ノ料金ニ付キマシテハナカノ稅

ガ多イノデゴザイマシテ、取締ニモ相

當手ヲ燒イテ居ル次第デゴザイマス、

從ツテ只今ハ飲食料金ノ最高價格ハ三

十圓ト云フコトニ相成ツテ居リマス、

三十圓ニ相成リマス、モウ公ニソ

レ以上ノ飲食ガナイ譯ナンデゴザイマ

シテ、收入ガ皆無ニナルノデハナイ

カ、斯ウ云フヤウニ老ヘラレマス、併

シ此ノ遊興飲食稅ノ收入ニ付キマシテ

ハ非常ニ變ツテ参リマス、政府ノ物價

政策ニ依リマシテ、ソレカラ又料理店

ヲ如何ニ取扱フカニ依リマシテ非常ニ

變ツテ参リマス、私ハ此處デハツキリ

申上デラレマセヌガ、今年度或ハ來年

度モ三十圓ノ最高價格デ飲食料金ガ止

マルカドウカ、此ノ點ニ付テ疑問ヲ持

ツテ居リマス、若シ是ガ上ニ上ルト云

フコトニナリマスレバ、各料理店全部

ヲ上ニ上ゲルカ、或ヘ或料理店ヲ指定

ジテ最高三十圓迄、此ノ料理店ハ最高

七十圓迄、斯ウ云フ風ニ相成ツテ來ル

ノデハナイカ、斯ウ云フコトモ老ヘラ

レマス、各般ノ事情ヲ綜合致シマシテ

二十圓ガ宜イカ、三十圓ガ宜イカト云

フコトニ付テハ、餘程議論ガアルト考

ヘテ居リマスガ、衆議院ハ三十圓ガ適

當デアル、斯ウ云フ風ニセラレタヤウ

デアリマス

○委員長(男爵周布兼道君) 井川委

員、御質問ハマデゴザイマスカ

○井川忠雄君 モウ宜シウゴザイマス

○委員長(男爵周布兼道君) 他ニ御質

問ゴザイマセヌカ、速記ヲ止メテ

午後二時二十分速記中止

午後二時四十六分速記開始

○委員長(男爵周布兼道君) 速記ヲ始

メテ、大體御質問ハ終了シタモノト認

メマシテ、是ヨリ討論ニ移リタイト存

ジマスガ、御異議ゴザイマセヌカ

〔異議ナシト呼フ者アリ〕

○委員長(男爵周布兼道君) 御異議ナ

イト認メマシテ討論ニ移リマス、三案

ヲ一括シテ議題ト致シマス、討論ノ御

發言ハゴザイマセヌカ、御發言ガナケ

レバ採決ニ入りマス、「所得税法の一

部を改正する等の法律案」、「臨時租稅

措置法を改正する法律案」、「地方稅法

及び地方分與稅法の一部を改正する法

律案」、此ノ三案ヲ一括致シマシテ採

決ニ移リマス、原案ニ賛成ノ諸君ノ起

立ヲ願ヒマス

〔總員起立〕

○委員長(男爵周布兼道君) 全員一致ト

認メマス、三案ハ原案通り全會一致ヲ

以テ可決致シマシタ、是ニテ本委員會

ハ散會ヲ致シマス

午後二時四十八分散會

出席者左ノ如シ

委員長 男爵周布 兼道君

副委員長 子爵綾小路 護君

子爵七條 光明君

名取 和作君

國務大臣 大村 清一君

內務大臣 大村 清一君

政府委員 萩田 保君

內務事務官 池田 勇人君

大藏事務官 前尾繁三郎君

同 前尾繁三郎君

侯爵西郷吉之助君

侯爵鍋島 直泰君

伯爵奥平 昌恭君

子爵梅溪 通虎君

中田 義君

男爵松平外與磨君

男爵岡 俊二君

男爵水谷川忠廣君

男爵長 基連君

黒田 英雄君

松尾 國松君

小山 完吾君

塩田 國平君

長島 銀藏君

徳田 昂平君

井川 忠雄君

昭和二十一年九月二十四日印刷

昭和二十一年九月二十五日發行

貴族院事務局

印刷者 印刷局